



念じられ 照らされて

親鸞聖人の遺骨・廟

「御念仏」という「たましい」

安藤 藤弥

浄土真宗の宗祖親鸞聖人は弘長二（一二六二）年の十一月二十八日にご往生され、火葬された後、その遺骨は遠江国池田の専信と下野国高田の顕智に拾われました。東山の麓、鳥辺野の北、大谷の山中に白い墓塔が建てられ、その下に埋葬されました。十年後の文永九（一二七二）年冬、その墓を改めることになり、遺骨は掘り出され、吉水の北辺に移されました。そこには六角堂の仏閣が建立され、親鸞聖人の「御真影」（木像）が安置されました。これが本願寺の前身となる大谷廟堂の成立です。

人たちは、その遺骨が納められた京都の大谷廟堂におまいりました。遺骨自体は顕智らも持ち帰ってはいるのですが、やはり京都に建立された親鸞聖人の廟堂への参詣が大きな意味を持ったこととなります。

さて、大谷廟堂は本願寺となり、両堂（御影堂・阿弥陀堂）形式となります。戦国時代には激動する時代状況のなかで京都東山大谷から山科、大坂（石山）、天満と移転し、京都に帰還（堀川六条）。そして慶長九（一六〇四）年、現在地（烏丸七条）に東本願寺が成立します。当初は境内地の西南隅が親鸞聖人をはじめ歴代の遺骨を安置する場になったといわ

〈略歴〉

1975年生まれ。名古屋大学文学部史学科卒業、大谷大学大学院博士後期課程文学研究科仏教文化専攻修了。現在、同朋大学教授、真宗大谷派岡崎教区第7組浄専寺住職。



れています。明暦・寛文度の本山造営・整備事業のなかで、「祖廟」造立の動きが起ります。寛文十（一六七〇）年、京都東山大谷の地（東山区円山町）に墳墓が築かれ、そこに遺骨は移され、納められました。その敷地はかつて大谷廟堂があった場所に近く、現在の大谷祖廟のはじまりです。

墳墓の中には中央に親鸞聖人、左に教如上人、右に宣如上人の遺骨が納められ、河内国磯長の聖徳太子廟と同じように三基一廟という特徴ある形式がとられました。

江戸時代以降、この祖廟には有縁の人たちの遺骨も埋葬され、さらに多くの人たちがおまいりしていくことになりました。

親鸞聖人の「たましい」、すなわち「御念仏」の教えのある場に、ともにありたいという想い。そこに遺骨があります。大切なのは「骨」ではなく「遺骨」であるということです。「遺」には「残る」「失う」等とともに「贈る」「与える」の意味が見出されます。「遺骨」の納められた「廟」地に、親鸞聖人をはじめとする先人たちが贈り与えられた「御念仏」の歴史があります。

別院定例法座

午後1時から

11月

28日 親鸞聖人ご命日法座

講師 春國 文春氏
（玄興寺住職）

講題 「親友はだれか」

12月

3日 三日のご坊

講師 小原 正寛氏
（専念寺副住職）

講題 「老いがいい」

28日 親鸞聖人ご命日法座

講師 石井 宗氏
（西教寺住職）

講題 「真宗に生きる」

・三島 大蓮氏
（真蓮寺住職）
・小原 正憲氏
（専念寺住職）
・平野 素浄氏
（速入寺住職）
・春國 文春氏
（玄興寺住職）



ひだご坊
一口法話

URL: <https://hidagobo.jp/sermon/>
11月1日から12月31日の期間は
右の方々の法話を随時掲載して
まいります。

高山別院報恩講

子ども作品展

十月二十一日から十一月五日まで、高山別院本堂では報恩講子ども作品展の作品が展示されています。今年も書道塾、教室、個人より小・中学生の書道作品百五十六点が出品され、左記の通り各賞の入選が決まりました。受賞者の方々に祝い申しあげますとともに、ご参加くださった皆さま方に御礼申しあげます。別院報恩講お参りの際にどうぞご覧ください。なお、作品展の表彰式は、十一月五日（日）午前十一時、十二時に別院本堂で開かれる【子ども報恩講】にて執り行われます。ご家族そろってお参りください。

【飛驒御坊賞】

河合凜太郎（中一）

御坊報恩講

河合凜太郎

柄本千智（小二）

【金賞】

柄本燈真（年中）・杉山永和（小二）
河合彩芭（小三）・松川歩（小四）
清水謙蔵（小五）・岸本那奈（小六）
辻彩恵子（中二）・松田暎斗（中三）

【銀賞】

門田篤季（年長）・林志郎（小二）
元田莉子（小三）・塚腰日咲（小四）
清水咲希（小五）・大西杏実（小六）
谷口紗代（中三）

はす

少つか本千さと

【銅賞】

中舎文（小一）・山越海結（小二）・長瀬芽衣（小三）・長田陽葵（小四）
梶井柚那（小五）・辻菜々子（小六）・長瀬遥飛（中二）・畑中朝陽（中二）

【佳作】

田原三鳩（小二）・武藤美乃（小二）・横山敢大（小三）・山下日紗菜（小三）
・林明葵（小三）・藤井晴希（小三）・今井乃愛（小四）
・田中葵唯（小四）
・山越穂高（小四）
・大江謙剛（小四）
・都竹恒毅（小五）
・田原匡人（小五）
・小林美結（小五）
・溝口真優（小五）
・小池沙奈（小六）
・中川瑠夏（小六）
・牛丸結衣子（小六）
・蓑晴子（小六）
・今井純鈴（中一）
・都竹愛実（中一）
・奥村怜禾（中三）

（以上、敬称略）

11月 1日 (水)	午後1時	初逮夜 音楽法要	法話 講師 窪田 哲氏 (圓徳寺前住職) 講題 「念仏申す身になるか」		
	午後7時	第42回 ご坊 真宗公開講座	説法 漫才 出演 漫才コンビ えしんりょう (土井恵信・中村 亮 両氏) 講題 「もっとお寺を身近に 和顔愛語」		
2日 (木)	午前7時	じんじょう 晨朝(お朝事)	法話 講師 細川 宗徳氏 (蓮乗寺住職)		多宝塔 (親鸞聖人分骨収納) 2019年、別院蓮池の横にある蔵(宗廟)に納められていた「多宝塔」を修復した際、その中から宗祖親鸞聖人のご遺骨が発見確認されました。 今年の別院報恩講では内陣右余間のお厨子に収め、約350年ぶりに讃嘆法要を営みます。
	午前10時	にっちゅう 日中	多宝塔讃嘆法要 講師 岩佐 善夫氏 (郡上八幡 本覚寺住職) 講題 「つながるいのちに、耳と目を開く」		
	午後1時	おおたいや 大逮夜 どうほうしょうわ 同朋唱和	法話 講師 岩佐 善夫氏 (郡上八幡 本覚寺住職) 講題 「本当の自分に出遇う喜び」		
	午後6時半	ご でん しょう 御伝鈔の夕べ	拝読時に異国の 楽器音楽が融合！		
3日 (金)	午前7時	晨朝(お朝事)	法話 講師 三枝 正尚氏 (随縁寺住職)		幼少の頃よりピアノをはじめ音楽家としての道を歩み、1999年オーストラリアの先住民民族アボリジニの風笛「イダキ」と出逢う。舞台音楽や奉納演奏など幅広く活動する音楽家。HIDAKI 代表。
	午前9時半	き きょう しき 帰敬式	法話 講師 三島 多聞氏 (高山別院輪番) 講題 「真宗門徒」		
	午後1時	まんにっちゅう 満日中			

尾形あかね 仏画展
期間 11月7日(火)まで
午前9時～午後3時
場所 高山別院寺宝館 - 無料 -

子ども作品展
期 間 11月5日(日)まで
会 場 高山別院本堂

お浚え
報恩講翌日のお朝事です。ぜひお参りください。
日 時 11月4日(土) 午前7時～

子ども報恩講 (作品展表彰式)
期 間 11月5日(日) 午前11時～12時
会 場 高山別院本堂

真宗公開講座 (第2回)
講 師 相馬 豊氏 (石川県道因寺住職)
講 題 「帰敬式 仏弟子になること」
講 題 高山別院本堂 参加費 500円

岐阜別院 団体参拝 報恩講
(参加費5,000円)
参拝のお申し込みは
高山教務支所(32-0776)まで

高山別院 お煤払い奉仕
のお願い
12月21日(木) 午後1時より、
本堂のお煤払いを行います。
一年の汚れを落とし、新年をお迎えします。
ぜひともご奉仕をお願いいたします。
※持参品
マスク・タオル・軍手など

除夜の鐘と修正会
高山別院では年越し前から除夜の鐘つきが始まり、年が明け、午前0時から本堂にて修正会が勤められます。修正会は、一年の初めに莊厳を整え、身も心もひきしめ、仏恩報謝の思いをもって新しい年にのぞむ仏事です。ぜひ、高山別院にお参りいただき、新年の歩みを始めましょう。

ひだご坊ブックフェア
親鸞聖人、真宗に関する様々な書籍を販売します。
期 間 11月1日～3日
ご坊名物「大根汁」
期 間 11月1日～3日
報恩講バザー
あんころ餅、焼きそば、パン等を販売します。
期 間 11月2日～3日
抹茶接待
11月1日 午前11時～午後3時
※お昼のお斎は中止

参拝送迎バス
11月2日・3日には別院報恩講参拝のためのバスを運行します。乗車場所・時間等のお問い合わせ、お申し込みはお手次のお寺へお願いします。
【2日】
莊白川組、
高山2組(久々野町・一之宮町方面)、
益田組、朝高組、
高山2組(丹生川町方面)
【3日】
清見組、
高山2組(新宮町・下之切町・山田町方面)、
吉城組(河合方面)

12/4
真宗公開講座 (第2回)
講 師 相馬 豊氏 (石川県道因寺住職)
講 題 「帰敬式 仏弟子になること」
講 題 高山別院本堂 参加費 500円

12/10
岐阜別院 団体参拝 報恩講
(参加費5,000円)
参拝のお申し込みは
高山教務支所(32-0776)まで

12/21
高山別院 お煤払い奉仕
のお願い
12月21日(木) 午後1時より、
本堂のお煤払いを行います。
一年の汚れを落とし、新年をお迎えします。
ぜひともご奉仕をお願いいたします。
※持参品
マスク・タオル・軍手など

12/31
除夜の鐘と修正会
高山別院では年越し前から除夜の鐘つきが始まり、年が明け、午前0時から本堂にて修正会が勤められます。修正会は、一年の初めに莊厳を整え、身も心もひきしめ、仏恩報謝の思いをもって新しい年にのぞむ仏事です。ぜひ、高山別院にお参りいただき、新年の歩みを始めましょう。

12/31
除夜の鐘
12月31日(日)
午後11時45分～
修正会
1月1日(月) 午前0時
1月2日(火) 午後1時
1月3日(水) 午後1時



「ひだご坊」ホームページ hidagobo.jp

記事についてのお問い合わせは飛騨御坊真宗教化センターまで ☎(0577)32-0776